



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成26年1月20日

上場会社名 株式会社メルコホールディングス  
コード番号 6676 URL <http://melco-hd.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 管理部長  
四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名

(氏名) 牧 誠  
(氏名) 井上 武彦

TEL 052-251-6891

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	72,474	2.7	1,601	0.6	2,278	5.8	1,455	11.0
25年3月期第3四半期	74,495	14.0	1,592	72.0	2,153	64.1	1,311	64.4

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,625百万円 (27.0%) 25年3月期第3四半期 1,280百万円 (65.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第3四半期	65.52	
25年3月期第3四半期	59.05	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
26年3月期第3四半期	64,704	42,432	65.6	1,910.18
25年3月期	71,128	41,696	58.6	1,877.02

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 42,432百万円 25年3月期 41,696百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期		20.00		20.00	40.00
26年3月期		20.00			
26年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	100,000	2.5	2,600	54.0	3,400	34.2	2,100	47.4	94.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	22,237,873 株	25年3月期	22,237,873 株
26年3月期3Q	24,136 株	25年3月期	23,816 株
26年3月期3Q	22,213,970 株	25年3月期3Q	22,214,146 株

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アベノミクスの追い風を受けた製造業を中心に景況感が改善した他、消費税率引き上げ前の駆け込み需要が見えはじめるなど、景気回復に広がりが出てきました。また、欧米の経済も先行きの不透明感を拭えないながらも回復傾向が持続しました。

当社グループに関係するデジタル家電業界は、スマートフォン及びタブレット市場が引き続き好調に推移した他、薄型テレビ市場では、販売台数の減少幅が縮小傾向にあり、改善の兆しが見えてきました。さらにパソコン市場は、タブレットの需要増により個人向けで低迷したものの、Windows XP<sup>※1</sup>パソコンの買い替え需要を背景に法人向けが堅調でした。

こうした状況下で当社グループは、成長著しいスマートフォン及びタブレット関連市場でアクセサリや無線LAN、ネットワーク対応ハードディスク(以下、NAS)の販売強化に努めました。また、国内において販売パートナーが安心して当社製品やサービスをエンドユーザーに提案できるよう販売支援・情報提供・技術提供を行うVARパートナープログラムや、米国において法人向けNASの営業提案力・サポート体制の強化を行うなど法人向けビジネスに注力しました。さらに構造改革によるムリ・ムダ・ムラの徹底排除を推進し、より筋肉質な経営体質への変革を進めました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高724億74百万円(前年同期比2.7%減)、営業利益16億1百万円(同0.6%増)、経常利益22億78百万円(同5.8%増)、四半期純利益14億55百万円(同11.0%増)となりました。

主要な製品別の状況は以下のとおりです。

メモリ製品は、パソコン市場の低迷の影響などで販売台数が前年同期比で15.6%減少したものの、DRAM価格に連動した販売価格の上昇により、売上高は38億68百万円(前年同期比24.6%増)となりました。

フラッシュメモリ製品は、パソコンから取り外すとUSBコネクタが自動的に収納されるオートリターン機能を採用したUSBメモリのカラーバリエーションを増やすなど購買層の拡大に努めましたが、販売価格上昇の影響により、販売台数は前年同期比で39.0%減少し、売上高は52億53百万円(前年同期比4.2%減)となりました。

ストレージ製品は、2013年度グッドデザイン賞<sup>※2</sup>を受賞したフラットデザインが特長のポータブルハードディスクなどの販売に注力しましたが、海外市場における低収益製品の販売抑制の影響により、販売台数は前年同期比で25.0%減少し、売上高は246億28百万円(前年同期比10.5%減)となりました。

NAS製品は、個人向けに録画番組を外出先から見られるDLPAリモートアクセス対応NASの機能拡張や、万一の災害で拠点に障害が発生した場合も、遠隔地にあるバックアップから速やかにデータを復旧し業務を再開できるオンラインストレージ連携や遠隔レプリケーションに対応した法人向けNASのラインナップ強化に加え、国内外での営業提案力及びサポート体制強化に努めました。しかし、海外での販売減少の影響などで販売台数は前年同期比で10.6%減少しましたが、売上高は101億69百万円(前年同期比13.7%増)となりました。

ネットワーク製品は、高速無線LAN規格11ac(Draft)対応の無線LANに子供が安心してインターネットを利用できるよう、インターネットの使い過ぎを防ぐ機能及び有害サイトへのアクセスをブロックできる機能を追加したモデルや、業務での使用を想定して開発された秘匿性の高いVPNルーターを上市するなど売上拡大に取り組みました。しかし、低収益製品の販売抑制の影響などで、販売台数は前年同期比で22.2%減少し、売上高は148億円(前年同期比5.8%減)となりました。

サプライ・アクセサリ製品は、スマートフォン及びタブレットのほとんどの機種で使えるBluetooth(R)<sup>※3</sup>対応製品のラインナップ拡充に加え、スマートフォン及びタブレットの急速充電に対応するモバイルバッテリーの販売強化を行いました。しかし、販売競争の激化などで、販売台数は前年同期比で29.1%減少し、売上高は72億28百万円(前年同期比9.1%減)となりました。

※1：Windows XPは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※2：公益財団法人日本デザイン振興会が主催する総合的なデザインの推奨制度です。

※3：Bluetooth(R)は、米国Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。

[四半期製品分類別連結売上高]

	平成25年3月期 (第3四半期連結累計期間)		平成26年3月期 (第3四半期連結累計期間)		前年同期比増減 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
メモリ	3,105	4.2	3,868	5.3	24.6
フラッシュメモリ	5,484	7.4	5,253	7.3	△4.2
ストレージ	27,508	36.9	24,628	34.0	△10.5
NAS	8,943	12.0	10,169	14.0	13.7
ネットワーク	15,711	21.1	14,800	20.4	△5.8
サプライ・アクセサリ	7,949	10.7	7,228	10.0	△9.1
DOS/Vパーツ	3,112	4.2	3,092	4.3	△0.6
その他	2,683	3.5	3,436	4.7	28.1
合計	74,495	100.0	72,474	100.0	△2.7

(注) 前連結会計年度まで製品分類として表示のありましたデジタルホーム、サービスは当連結会計年度よりその他に合算しました。なお、その他の前連結会計年度の金額、構成比、前年同期比増減はそれに基づいて算出した数値を表示しました。

海外事業は、北米・中南米では、法人向けNASの拡販などにより売上が増加しました。欧州は、前年の債務危機の影響による販売の落ち込みから回復し売上が増加に転じました。しかし、アジア・オセアニアは、低収益製品の販売抑制及び法人向け製品の販売強化の遅れにより売上が減少しました。

[海外売上高]

	平成25年3月期 (第3四半期連結累計期間)		平成26年3月期 (第3四半期連結累計期間)		前年同期比増減 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
アジア・オセアニア	6,735	48.6	4,116	31.9	△38.9
北米・中南米	3,076	22.2	4,121	32.0	34.0
欧州	4,053	29.2	4,649	36.1	14.7
合計	13,864	100.0	12,887	100.0	△7.0

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は647億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ64億24百万円減少しました。流動資産は608億1百万円となり41億63百万円減少しました。これは主に、現金及び預金の減少104億51百万円、原材料及び貯蔵品の減少27億19百万円、有価証券の増加91億3百万円によるものです。固定資産は39億2百万円となり22億61百万円減少しました。

負債合計は222億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ71億60百万円減少しました。流動負債は198億56百万円となり、70億14百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少68億82百万円、その他流動負債の減少7億95百万円、未払金の減少5億95百万円、電子記録債務の増加10億20百万円によるものです。固定負債は24億16百万円となり、1億45百万円減少しました。

純資産合計は424億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億36百万円増加しました。これは主に、当期純利益14億55百万円の獲得と、配当金の支払8億88百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

主力であるパソコン及び薄型テレビの周辺機器市場は依然厳しい状況が続いているものの、消費税率引き上げ前の駆け込み需要に加え、販売価格の適正化、適切な在庫コントロールによるロスコスト圧縮や経費削減などムリ・ムダ・ムラの徹底排除が奏効し、利益面で計画を上回る見込みであり、平成25年10月7日に発表しました平成26年3月期通期連結業績予想を下記の通り修正しました。(本修正内容は、平成26年1月20日に「業績予想の修正に関するお知らせ」として公表済みです。)

[平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)]

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表数値(A)	百万円 100,000	百万円 1,900	百万円 2,600	百万円 1,500	円 銭 67.53
今回発表数値(B)	100,000	2,600	3,400	2,100	94.54
増減額 (B-A)	—	700	800	600	—
増減率 (%)	—	36.8	30.8	40.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期)	102,597	1,688	2,533	1,425	64.17

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、業況の変化などによりこの業績予想と異なる結果になる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,817	2,365
受取手形及び売掛金	17,256	17,170
有価証券	20,000	29,103
商品及び製品	6,029	7,657
原材料及び貯蔵品	5,713	2,993
繰延税金資産	333	231
その他	2,818	1,284
貸倒引当金	△4	△5
流動資産合計	64,964	60,801
固定資産		
有形固定資産	721	714
無形固定資産	1,101	1,509
投資その他の資産		
投資有価証券	3,796	1,133
その他	561	561
貸倒引当金	△17	△15
投資その他の資産合計	4,340	1,679
固定資産合計	6,163	3,902
資産合計	71,128	64,704
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,780	12,898
電子記録債務	—	1,020
未払法人税等	486	727
未払金	3,024	2,429
役員賞与引当金	9	8
製品保証引当金	137	136
その他	3,432	2,636
流動負債合計	26,870	19,856
固定負債		
繰延税金負債	981	902
退職給付引当金	905	839
役員退職慰労引当金	475	478
リサイクル費用引当金	155	154
その他	43	41
固定負債合計	2,561	2,416
負債合計	29,432	22,272

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	774	774
利益剰余金	40,085	40,651
自己株式	△60	△61
株主資本合計	41,799	42,365
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	157	189
繰延ヘッジ損益	△0	202
為替換算調整勘定	△259	△326
その他の包括利益累計額合計	△103	66
純資産合計	41,696	42,432
負債純資産合計	71,128	64,704



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	74,495	72,474
売上原価	60,763	59,633
売上総利益	13,731	12,841
販売費及び一般管理費	12,139	11,239
営業利益	1,592	1,601
営業外収益		
受取利息	89	41
受取配当金	403	520
有価証券売却益	36	35
為替差益	—	57
投資事業組合運用益	—	3
デリバティブ評価益	0	1
持分法による投資利益	10	1
貸倒引当金戻入額	21	—
その他	58	57
営業外収益合計	620	718
営業外費用		
支払利息	0	2
為替差損	21	—
減価償却費	20	17
その他	17	22
営業外費用合計	59	42
経常利益	2,153	2,278
特別利益		
固定資産売却益	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	13	10
投資有価証券評価損	2	—
特別損失合計	16	10
税金等調整前四半期純利益	2,136	2,268
法人税、住民税及び事業税	412	891
法人税等調整額	412	△79
法人税等合計	824	812
少数株主損益調整前四半期純利益	1,311	1,455
四半期純利益	1,311	1,455

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,311	1,455
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	32
繰延ヘッジ損益	△11	203
為替換算調整勘定	△22	△66
その他の包括利益合計	△31	169
四半期包括利益	1,280	1,625
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,280	1,625

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	アジア	欧州	北米・中南米	
売上高					
外部顧客への売上高	65,786	1,707	4,053	2,948	74,495
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,979	2,966	1	144	11,092
計	73,765	4,674	4,054	3,093	85,587
セグメント利益又は損失(△)	1,677	△80	△241	41	1,397

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,397
セグメント間取引消去	194
四半期連結損益計算書の営業利益	1,592

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	アジア	欧州	北米・中南米	
売上高					
外部顧客への売上高	62,058	1,642	4,649	4,124	72,474
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,687	24,787	40	386	32,901
計	69,746	26,430	4,689	4,511	105,376
セグメント利益又は損失(△)	1,886	△128	△288	△38	1,430

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,430
セグメント間取引消去	171
四半期連結損益計算書の営業利益	1,601